

# 議 会 報 告

発行者：後援会会長 加藤進一 / 後援会事務所：稲沢市平野町 2-8 Tel. 32-7199

会員の皆様

暑中お見舞い

申し上げます

## ののべ尚昭経過報告

- 4月 9日 愛知文教女子短大入学式
- 10日 臨時議会、議員総会
- 11日 県・市議会議員野球大会
- 19日 県・市議会議員野球大会 (ベスト 4)
- 20日 植木まつり開場式
- 21日 消防団観閲式
- 22日 委員協議会 (厚生委員会)
- 24日 稲沢地区区長会総会
  
- 5月 11日 愛知文教女子短大記念式典
- 15日 赤峰市経済友好訪問団歓迎レセプション
- 16日 地方自治経営学会研究大会  
          (東京・私学会館)
- 17日
- 19日 水防・防災訓練
- 20日 個人研修  
          北海道 (釧路市・帯広市・苫小牧市)
- 22日
- 24日 中国経済連合会 (広域行政部会)  
          にオブザーバーとして出席
- 25日 稲沢地区まちづくり推進会議総会
- 28日 委員協議会 (厚生委員会)
- 29日 下水道対策特別委員会
- 31日 議員総会
  
- 6月 4日 委員協議会 (国民健康保険)
- 7日 6月定例議会 (開会)
- )
- 20日 閉会
- 15日 青少年健全育成市民大会
- 21日 稲沢市国際友好協会総会
- 28日 石橋浄水場新設配水池築造工事起工式  
水道議会会議



会員の皆様におかれましては暑さ厳しいとはいえ、一層のご自愛とともにご健勝にお過ごしのことと思います。昨年9月に皆様の多大なるご支援を受け当選させて頂いてから、はや10カ月がたとうとしています。議員活動も段々慣れてきてようやく自分の居場所や役割が見つけられるようになりました。初心を忘れず皆様の信頼と負託にこたえられるよう、より一層の努力をする覚悟でございます。

さて、本市は色々な行政課題、特に都市基盤整備の問題をかかえています。財政状況も芳しくなく税収の伸び悩みも深刻です。こんな時こそ必要なのが、『市長のリーダーシップ』と『市民との対話』だと思います。『市民との対話』は情報公開から始まります。現在、稲沢市に一番欠けているのがこの情報公開です。現在行っている情報公開とは物事が決定した「後」のお知らせとしての「広報情報」であって、物事が決定する「前」の「政策情報」ではないのです。『今、どのような事が話し合われているのか』が公開されてはじめて、市民・市職員・議員・市長が同一情報で議論することができるのです。そうすれば、『市民との対話』ができ、市民参加型の政治が実現できます。

私は情報を公開し、市民の皆さんと議論をしてよりよい稲沢を創っていくことを肝に銘じながら、酷暑のご挨拶とご報告に代えさせていただきます。

市議会議員 野々部 尚昭

## — 6月定例議会 —

6月4日に開会し、14日間の会期で本年度一般会計補正予算案など6議案を原案通り可決しました。なお、本年度一般会計補正予算額は1億1,597万1千円を歳入歳出予算総額の249億5,500万円に追加したもので、歳入歳出予算総額を250億7,097万1千円としたものです。これらの財源は国庫補助金976万円、市債990万円、繰越金8,156万円等により措置しました。

また、一般質問を行った議員は14名で過去最多になりました。(後にのべ尚昭議員の一般質問の詳細を報告)

### 【条例改正】

- ◎ 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正しました。

### 【決議】

- ◎ 中国の核実験即時中止を求める決議を可決しました。(中国の核実験強行は、各国が包括的核実験禁止条約交渉の妥結に向けて努力している中、国際社会の努力に逆行する行為であり、稲沢市も非核宣言自治体として許すことができない。中国は、9月までにあと1回核実験を行う予定であるが、即時中止し、核実験を無期限停止するよう中国大使館あてに求めました。)

### 【意見書】

- ◎ 第9次治水事業5か年計画における大幅な事業費の確保に関する意見書を可決しました。(特に、五条川、青木川の早期改修が強く望まれています。)

- ◎ 公的介護保険に関する意見書を可決しました。(費用負担を地方に転嫁させることなく、国の責任において公的介護保険制度を実施するよう強く要望しました。)

### 【同意】

- ◎ 人権擁護委員の遠山孝博氏と日下英之氏が平成8年11月30日に任期満了のため、引続き遠山孝博氏(附島町)と新たに加賀文雄氏(奥田町)を推薦することに同意しました。
- ◎ 稲沢市監査委員の桜井恒三郎氏が平成8年7月19日に任期満了のため、織田俊信氏(日下部中町)を選任することに同意しました。

### 【決定】

- ◎ 愛知県尾張水害予防組合組合会議員を下記のとおり決定しました。

服部 開一氏 (松下)  
安井 文比呂氏 (下津片町)  
柴山 孝之氏 (日下部中町)  
箕浦 敞夫氏 (天池東町)  
水谷 守男氏 (奥田町)

※順不同

## — 4月臨時議会 —

4月10日に1日間の会期で、条例改正などの議案を可決しました。

### 【条例改正】

- ◎ 稲沢市税条例の一部を改正しました。
- ◎ 稲沢市都市計画税条例の一部を改正しました。

# 市議会の権限

市議会は、市民の意見を代表する機関として十分に活動できるよう、いくつかの重要な権限を持っています。その主なものには、次のようなものがあります。

## 【議決権】

市議会の最も代表的な権限で、条例の制定や改廃をしたり、予算を定めたり、決算を認定したり、特定の請負契約の締結及び財産の取得や処分決定などを行います。

## 【調査権】

市の事務を自主的に調査し、必要によって関係者の出頭や証言を求め、記録の提出を請求することができます。

## 【検閲・検査及び監査請求権】

市政が市民の期待どおり適正に行われているかどうかを監視するため、市の事務に関する書類や計算書の検閲、市の事務管理や金銭出納の執行状況の検査、市の監査委員に対する監査請求など、市民代表として執行状況を監視することができます。

## 【意見書提出権】

市の公益に関することがらについて、国などの関係機関に対して意見書を提出することができます。

## 【その他の権限】

市議会議長、副議長、選挙管理委員などを選ぶ選挙権、市長が助役、収入役、監査委員、教育委員会委員、人事委員会委員などを選任するにあたり議会として同意を与える同意権、市民から提出された請願・陳情の受理権などがあります。

## 今回の傍聴者数

22人

## 《 議会を傍聴して! 》

6月11日(火)、ののべ尚昭議員の一般質問の時間(14:10~16:10)に後援会の皆さんが22名傍聴にみえました。

今回は特に女性の方が多く、議会傍聴の率直な感想を届けていただきました。

- 仕事の間に時間を作って始めて議会を傍聴しました。ののべ議員は先輩議員に負けないうくらい堂々とした態度に見えました。質問内容はあらかじめ知っていましたが、私には内容が難しすぎてあまり理解することが出来ませんでした。それだけのののべ議員が勉強しているということだと思います。また、理事者側も遠回しに答えるだけで答弁になっていないような気がしました。

初めて議会を傍聴するという事で、自分なりに緊張して傍聴席に座ったのですが、議場の様子を見て「がっかり」という感じでした。ののべ議員や市長が話をしているのに、居眠りをしている人や私語をしている人があまりにも多すぎるということです。他の議員に注意を受けている議員もいました。市民のかたも一度傍聴席に足を運ばれて、自分が大切な一票を入れた議員の質問や議会に対する取組み姿勢などを見に行かれるとよいと思います。議会のビデオ化、オープン化を反対されるのが分かる気がします。

私はののべ議員に投じた一票が“生かされている”と感じ、同時に嬉しく思いました。ののべ議員は行政学や世界の国々の地方自治の比較を専門に研究されているので、ニュータイプの政治家として市議会に旋風を巻き起こして欲しいです。ののべ議員、一晩中語りあかしたあの日を忘れず、稲沢市のため、稲沢市民のために頑張ってください。

板津 和博

- ののべ議員の質問内容は今の時代にマッチしており同感できるものばかりだった。特に行政能力に対する考え方は良いアイデアだと思った。この事に対する理事者側の答弁には飽きれてしまった。例えば、ののべ議員が「民間への職員派遣」を提案すると、理事者側は「優秀な職員を送ると市の業務に支障をきたしてしまう。そうでない職員を送ると民間に笑われてしまう。」と思われるような答弁をしていた。こんなような答弁では市役所の中には優秀な職員があまりいないと言っているようなものです。昨今では公務員の採用は倍率がかなり高く、合格するのが非常に困難だと聞いております。このような状況なので、優秀な人材を採用しているはずですが、そうであるならば自信をもって民間に職員を派遣して新しい人材を育成するべきではないでしょうか。

女性・54歳

- 理事者側や他の議員の中で、また、親子ほど年齢差がある中でよく頑張っていると思った。これからも大いに若い感性で行政のチェックをしてください。自分の息子のような気持ちでいつも応援しています。

女性・48歳

- 全体的にもっと意見のやりとりがあると思った。ののべ議員の質問内容はよく勉強しているせいか、私にとっては難しかった。理事者の方々は本当に理解して答弁をしているのか疑わしかった。また、検討中と答弁することが多いような気がしたが、本当に検討するのかなあと率直に感じた。

女性・48歳

